

令和8年度
専攻科学生募集要項
(第2次募集)

〔 専攻科案内
出願書類 〕

第2次募集	出願期間	令和7年11月18日(火)～20日(木)
	試験実施日	令和7年11月29日(土)
	合格発表日	令和7年12月4日(木)
	入学確約書提出期限	令和8年1月9日(金)



独立行政法人国立高等専門学校機構
福島工業高等専門学校

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL 0246-46-0721 (学生課入試係)

E-Mail nyuushi@fukushima-nct.ac.jp

URL <https://www.fukushima-nct.ac.jp/>

目 次

〔専攻科学生募集要項〕（第2次募集）

1 入学者受入方針	1
2 募集人員	2
3 出願資格	2
4 出願手続	2
5 選抜の方法等	3
6 受験上の注意事項	4
7 合格者の発表	4
8 入学確約書の提出	4
9 入学手続等	4
10 個人情報の利用について	4
11 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	5
12 各選抜における追試験の受験要件について	5
13 不正行為について	6
別表 英語に関する提出書類	7
◎検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合について	8

〔出願書類〕

- | | | |
|------------|-----------|-------|
| 1 専攻科入学願書 | 2 写真票・受験票 | 3 調査書 |
| 4 専攻科志望調査書 | 5 検定料納入書 | |

令和8年度 専攻科学生募集要項（第2次募集）

1 入学者受入方針

アドミッションポリシー（入学者受入方針）は、本校の学習・教育目標を達成できる能力を持った人を入学させるための方針で、次のように定められています。

求める学生像

全専攻

1. 専門の知識と基礎技術を有し、より高度な実践的かつ創造的技術を修得する意欲のある人（知識・技能）
2. 工学と経営の融合した分野に強い興味を持っている人（思考力・判断力・表現力）
3. 職業人としての倫理観を身につけ、専門分野で地域及び社会の発展に貢献したい人（主体性・協働）

産業技術システム工学専攻

【生産・情報システム工学コース】

1. 機械・電気の専門的な基礎力を有し、機械・情報を活用した創造的なモノづくりに興味を持っている人
2. 生産・情報分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

【エネルギーシステム工学コース】

1. 機械・電気の専門的な基礎力を有し、エネルギー分野に興味を持っている人
2. エネルギー分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

【化学・バイオ工学コース】

1. 応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の学修と研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応できる知識とスキルを修得したい人
2. 工学を修める者としての確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

【社会環境システム工学コース】

1. 建設・環境工学の研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応する知識とスキルを修得したい人
2. 確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

ビジネスコミュニケーション学専攻

【ビジネスコミュニケーション学コース】

1. 現代社会への幅広い関心を持ち、社会科学の研究と、語学や情報、環境問題などの関連分野の学習に打ち込む意欲を持っている人
2. たしかなコミュニケーション能力と情報リテラシーを身につけ、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍する意欲のある人

入学者選抜の基本方針

高等専門学校卒業程度の、各専門で必要な基礎的素養（工学系では、数学、各専門分野の基礎的知識・能力、ビジネス系では経営学分野の基礎的知識・能力）を有していることを評価します。

評価方法は、推薦による選抜では推薦書・調査書・志望調査書、学力試験による選抜では調査書・志望調査書・学力試験、社会人特別選抜では調査書・志望調査書および面接とします。

また、外国語による国際的コミュニケーション基礎能力を有していることを、英語の資格に関する証明書で評価します。

2 募集人員

ビジネスコミュニケーション学専攻

若干名

3 出願資格

以下の(1)と(2)の両方を満たす者とします。

(1) 次の各号のいずれかに該当する者

- ① 高等専門学校を卒業した者及び令和8年3月に卒業見込の者
- ② 短期大学を卒業した者及び令和8年3月に卒業見込の者
- ③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者
- ④ 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程を修了した者のうち、学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む）の規定により大学に編入学することができる者
- ⑤ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑧ その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（注） 審査によって認定された科目及び専攻科教育課程表の科目だけでは専攻科の修了要件を満たさない場合は、不足の科目の補講等を受講し、学力試験を受け、定められた基準で合格しなければなりません。

(2) 英語において、別表に挙げる各テスト・検定の証明書等を有している者

(1)の②～⑧で出願を希望する者は、出願資格等を確認しますので、必ず令和7年10月20日(月)までに、本校学生課入試係に電話・電子メール・郵便等により照会してください。

4 出願手続

(1) 入学願書受付期間

① 期 間： 令和7年11月18日(火)～20日(木)まで

受付時間は、9時から16時（郵送の場合は11月20日(木)16時必着）までとします。

② 場 所： 福島工業高等専門学校 学生課入試係

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL：0246-46-0721

E-Mail：nyuushi@fukushima-nct.ac.jp

(2) 出願書類：出願に必要な書類は、次のとおりです。出願書類の①～⑤および検定料納入書の様式は、本校入試係窓口にて受け取ることが可能です。なお、遠方等で窓口にて受け取ることが困難な場合には、本校入試係へ電話または電子メールにてご請求ください。

①入学願書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
②受験票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
③写真票	本校所定の用紙に最近3カ月以内に撮影した上半身、正面脱帽の写真(4.5cm×3.5cm)を貼付し、所定の事項を記入したもの。
④調査書	本校所定の用紙により、在籍(出身)学校長が作成し、厳封したもの。
⑤志望調査書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。

⑥英語の資格に関する証明書等	別表に示す証明書等について、所有する全てのテスト・検定の書類（各テスト・検定の最高位のもの）の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。 TOEICの場合は、印刷したデジタル公式認定書の提出も可とします。（ただし、出願期間までに公式ホームページでの確認が可能であること。）
⑦検 定 料	16,500円 本校所定の「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」（高専提出用）を出願書類に同封してください。なお、ATM（現金自動預払機）、携帯電話及びパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください（郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は「検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合について」をご覧ください）。 また、既納の検定料は以下の場合以外、いかなる理由があっても返還しません。 ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合
⑧返信用封筒（受験票返送用）	志願者の郵便番号・住所・氏名等を記入し410円切手（速達郵便分）を貼付したもの。ただし、出願書類等を持参する場合は不要です。
⑨その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。なお、受理した出願書類は、返還しません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

5 選抜の方法等

入学者の選抜は、学力試験、出身学校長から提出された調査書、志望調査書及び英語の資格（提出された書類の点数等を得点に換算し、これらが複数ある場合には、最も高い得点を採用し、学力点とみなす）を総合判定して行います。ただし、本校以外の学校からの出願者に対しては学力試験に加えて面接を実施します。

(1) 学力試験・面接等の日時及び場所 令和7年11月29日（土）

科 目 等	時 間	場 所
小 論 文	9 : 00 ～ 10 : 30	福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川字長尾30)
専 門 科 目	10 : 50 ～ 12 : 50	
面 接 に 関 す る 説 明	14 : 10 ～ 14 : 20	
面 接	14 : 20 ～	

※面接は、1人20分程度です。

(2) 学力試験科目及び出題範囲

専攻名	科目	出題範囲	備考
ビジネスコミュニケーション学専攻	小論文	社会に関するテーマ 小論文（1200字程度）	必須
	専門科目	①経営学，②基礎会計学， ③数学（微分積分，確率・統計）	左欄の3科目のうち 1科目選択

6 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、**8時40分**までに受付を済ませてください。**8時45分**から全体説明を行いますので、時間までに指定された受験者控室に入室してください。
- (2) 交通機関の混乱等，不測の事態に備え，受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3) 受験票及び筆記用具は，必ず持参してください。

7 合格者の発表

令和7年12月4日(木) 午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに，本校のホームページにも掲載します。また，合格者には「合格通知書」を送付します。

なお，電話等による可否の照会には，応じられませんのでご注意ください。

8 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は，「入学確約書」を下記の期限までに本校学生課入試係に提出してください。

なお，期限までに「入学確約書」を提出しない者は，入学の意思がないものとして取り扱います。

入学確約書提出期限 **令和8年1月9日(金)17時必着**

9 入学手続等

入学手続日，入学に必要な書類等については，「入学確約書」提出者に，後日通知します。

10 個人情報の利用について

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は，入学者選抜の資料として利用するとともに，次の目的等にも利用しますのでご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料，授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

11 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

福島工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、令和7年10月20日（月）までに福島高専学生課入試係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、出願書類提出期限直前の相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられなくなる可能性があります。安心して試験を受けられるように、早めの相談及び申請をするよう、ご注意ください。

必要に応じて、学生、学生の保護者及び、在籍（出身）学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等専門学校や短期大学等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

12 各選抜における追試験の受験要件について

推薦による選抜、学力による選抜、または社会人特別選抜（以下「各選抜」という）の入学志願者が、インフルエンザまたは新型コロナ感染症等の感染症、もしくは月経随伴症状等の体調不良を理由として各選抜の本試験を受験できなかった場合の対応として、追試験を実施します。

上記各理由に該当し追試験を希望する場合には、本校学生課入試係に申し出てください。

13 不正行為について

(1) 受験時に次の不正行為を行った場合、その場で受験の中止及び検査場からの退出を指示し、それ以降の受験はできなくなります。また、全ての検査項目の成績を無効とします。

- ① 受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ② カンニング（試験の教科に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 配付された問題用紙を、その検査時間が終了する前に検査室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を検査室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題用紙を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 検査時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓（使用を許可された場合を除く。）、そろばん、グラフ用紙等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類を使用すること。
※検査時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、合理的配慮の申請が必要です。
- ⑧ 「解答やめ。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けること。

(2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱い(1)と同様です。

- ① 検査時間中に、(1) ⑦に挙げる補助具や電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をカバン等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
- ② 検査時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、検査の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
- ④ 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 検査場において検査監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、検査の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

別表

福島工業高等専門学校 専攻科入学者選抜

英語に関する提出書類

下表に示すスコア・級について、所有する全てのテスト・検定の書類（各テスト・検定の最高位のもの）の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。

TOEICの場合は、印刷したデジタル公式認定書の提出も可とします。（ただし、出願期間までに公式ホームページでの確認が可能であること。）

テスト・検定の種別		提出書類
TOEIC	TOEIC 公開テスト	公式認定証 (Official Score Certificate)
	福島高専で実施した TOEIC-IP	個人成績表 (Score Report)
TOEFL	TOEFL PBT (Paper-Based Test)	公式スコア表 (Official Score Report) もしくは 受験者用控えスコア表 (Examinee Score Record)
	TOEFL IBT (Internet-Based Test)	
実用英語技能検定		合格証明書

*TOEIC・TOEFL については、各選抜試験実施日からさかのぼって 2 年を過ぎたものについては無効とします。

*出願後のスコアや級の差し替えは認めません。

◎検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合について

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合は次のような条件がありますので、ご利用の際はご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から検定料を振り込む場合は現金での振り込みはできず、口座からの振り込みのみ可能となっていますのでご注意ください。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。
- (2) ゆうちょ銀行から振り込む場合は、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書は使用できません。窓口で、ゆうちょ銀行専用の振込依頼書を受け取り、必要事項を記入して窓口から振り込みください。振り込みの際は、振り込み先を確認しますので、本校所定の振込依頼書も持参ください。なお、振り込み手数料はご負担ください。
- (3) 振り込み後は、窓口で「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」（以下、「振込受付書」という）を受領してください。また、出願の際にはこの振込受付書を出願書類に同封してください。なお、振込受付書はコピーを取り、コピーは大切に保管してください。
- (4) 検定料の振り込みは、ゆうちょ銀行ＡＴＭ（現金自動預払機）からは行わないでください。

ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

8000034

振込依頼書(兼振替払出請求書) [電信扱い]

[ゆうちょ銀行]以外の銀行宛

※本枠からは出さないようにボールペンではっきりと記入ください。 ※□枠内は、該当の項目にレ印をつけてください。

▲組合口座の場合は裏面に記載のある方のみ記入ください。

ご依頼日 年 月 日

※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。
※お受取人負担のお取扱いはできません。

お受取人	金融機関名	☐ 銀行 ☐ 信金 ☐ 信組	支店名	支店
	☐ 1 普通 2 当座 ☐ 4 貯蓄 9 その他 ()	口座番号	金額	千 百 十 万 千 百 十 万 千 百 十 万 千 百 十 万
	フリガナ		※ 金額の欄に「円」まで記入ください。	
	おなまえ		振込金額 5万円未満 5万円以上 料金(消費税込) 648円 864円	

ご依頼人	おところ	郵便番号 (-)	
	フリガナ		
	おなまえ		
	日中ご連絡先電話番号 記号 - 番号(左詰めでご記入ください)	通知番号	※お受取人様に通知を希望される番号(最大10桁)がある場合 (お名前前の横に数字を入れる欄)に左詰めでご記入ください。
払出口座番号 記号 - 番号(左詰めでご記入ください)	郵便番号 (-) ※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。	お届け印	
払出口座名義人(代理人) おなまえ			

科 目	取替年月日	取替納期	受払所要
	取替店番号	取替通番	代付店番号
請求種別		振込先	
		お受取人おなまえ	係
		お受取人おなまえ	係
		ご住所	
払出口座番号			
振込金額	円 振込割合	円 (消費税等を含む。)	
合計金額	円 振込明細番号		
<振込口座情報欄> 振込口座1: ☐ 振込口座2: ☐ 振込口座3: ☐ 振込口座4: ☐ 振込口座5: ☐			
本・代・使 () 本・代・込 () 本・代・出 () 本・代・入 () 本・代・出 () 本・代・入 ()			

- ・ご依頼人には受験者の氏名を記載してください。
- ・福島高専には「お客様控え」を提出してください。